

## ネイティブ・シュードモナス属コレステロールエステラーゼ

Cat. No. DIA-134

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**概要** ステロールエステラーゼは、加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名は、ステリルエステルアシルヒドロラーゼです。この酵素は胆汁酸の生合成に関与しています。

**用途** この酵素は、臨床分析においてコレステロールオキシダーゼと結合することで、総コレステロールの酵素的測定に役立ちます。

**別名** コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; ステロールエステラーゼ

### 製品情報

**由来** シュードモナス属

**外形** 淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

**EC番号** EC 3.1.1.13

**CAS登録番号** 9026-00-0

**分子量** approx. 300 kDa

**活性** GradeIII 100U/mg-固体以上（安定剤約40%を含む）

**混入物** カタラーゼ <  $1.0 \times 10^{-2}\%$

**等電点**  $5.9 \pm 0.1$

**pH安定性** pH 5.0-9.0 (25°C, 24時間)

**最適pH** 7.0-9.0

**熱安定性** 55°C未 $\square$  (pH 7.5、10分)

**最適温度** 40°C

**ミカエリス定数**  $5.4 \times 10^{-5}\text{M}$  (リノレート),  $6.6 \times 10^{-5}\text{M}$  (オレート),  $3.7 \times 10^{-5}\text{M}$  (リノレン酸),  $1.5 \times 10^{-4}\text{M}$  (パルミテート),  $1.2 \times 10^{-4}\text{M}$  (ミリスチン酸),  $2.3 \times 10^{-5}\text{M}$  (ステアリン酸)

**阻害剤**  $\text{Hg}^{++}$ 、 $\text{Ag}^{+}$ 、イオン性洗剤

**安定化剤**  $\text{Mg}^{++}$ 、ナトリウムコレート、ウシ血清アルブミン

### 保管・発送情報

**安定性** -20°Cで少なくとも1年間安定しています